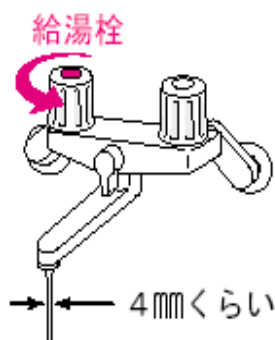


凍結による給湯器破損の予防について

- 凍結予防……給湯器が凍結するとお湯が出ないばかりでなく、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。
- 風当たりの強い場所に給湯器が設置されている場合、特に凍結が予想されますのでご注意ください。
- 凍結により機器が破損した場合の修理は、メーカー保証期間内でも有料での修理となりますので、冷え込みが厳しくなりそうな時は下記の手順で凍結を防止してください。

※また、「配管カバー」、「保温材」を取り付けることによって凍結を予防することが可能です。詳しくは担当者までお問い合わせください。

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にする。
- ②ガス栓を閉める。
- ③お風呂の給湯栓を開いて、少量の水（一分間に約400cc、水の太さ約4mm程度）を流したままにしておく。
※混合水栓の場合は、レバーを最高温度の位置に設定してください。
- ④念のため、約30分後に再度水の量を確認してください。



*サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。

■凍結してお湯(水)が出ないとき……

気温の上昇により、自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

※配管にお湯や水をかけて解凍を急がれますと、配管内の氷が膨張して、配管が破裂するおそれがあります。

■長期間ご使用になられない場合は水抜きをしてください。

長期間給湯器をご使用になられない場合は、別紙の要領で水抜きをおこなってください。

またわからない場合は担当者までお問い合わせ下さい。